

# 郡山市上下水道ビジョン 新規事業

～郡山市上下水道事業中期計画～

## 第3次実施計画及び財政計画

【計画期間：2022（令和4）年度～2025（令和7）年度】



### 効率的な事業実施のための計画検討～農業集落排水の公共下水道への接続～

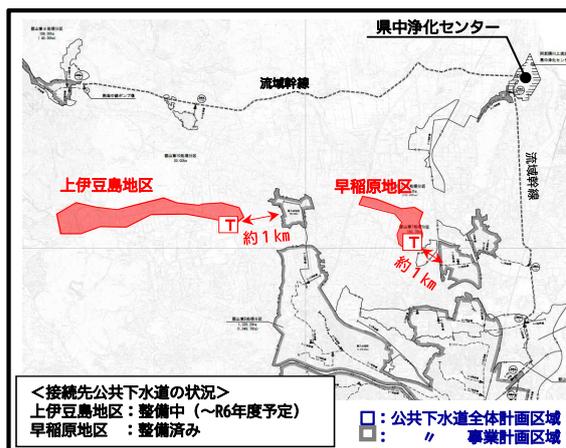
・汚水処理の効率化を図るため、農業集落排水の一部を流域関連公共下水道へ接続する。

**農集 上伊豆島地区**

計画処理区域 : 109ha  
 計画処理人口 : 1,120人  
 日平均汚水量 : 284m<sup>3</sup>/日  
 (処理能力)  
 公共下水道への : 約1km  
 接続距離

**農集 早稲原地区**

計画処理区域 : 35ha  
 計画処理人口 : 660人  
 日平均汚水量 : 179m<sup>3</sup>/日  
 (処理能力)  
 公共下水道への : 約1km  
 接続距離



年度	作業項目・要望額	内容
～令和2年度	農集側の検討(下水道保全課)	・公共下水道への接続によるメリットの整理 (既存施設の長寿命化と公共下水道への接続の経済比較)
令和3年度	効率的な事業実施のための計画検討	・既設公共下水道の流下能力の確認 ・下水道区域への位置づけに向けた基礎資料作成
令和4年度	早稲原地区における下水道接続幹線ルートのご検討	・橋梁添架の可否を含めて下水道接続幹線ルートの検討
令和5年度	流域関連公共下水道全体計画の見直し	・農業集落排水2か所を流域関連公共下水道全体計画に編入 ・計画フレーム(人口、汚水量等)の見直し
令和6年度	下水道法事業計画と都市計画法事業認可の変更	・法手続き
令和7年度以降	接続工事(実施設計、工事)	

# 下水道施設耐水化事業

第9回審議会  
説明

<R2.5.21付け国土交通省通知>

近年、水害が頻発しており下水道施設が浸水し市民生活に多大な影響を与えた事案があることから、被災時のリスクが高い下水道施設については、対策浸水深や対策箇所の優先順位等を示す耐水化計画を令和3年度までに策定し、順次耐水化を進めること。



<令和3年度>

## 下水道施設耐水化計画策定

### 対象外力

- 阿武隈川及び逢瀬川の浸水想定区域図（計画規模L1）による想定浸水深

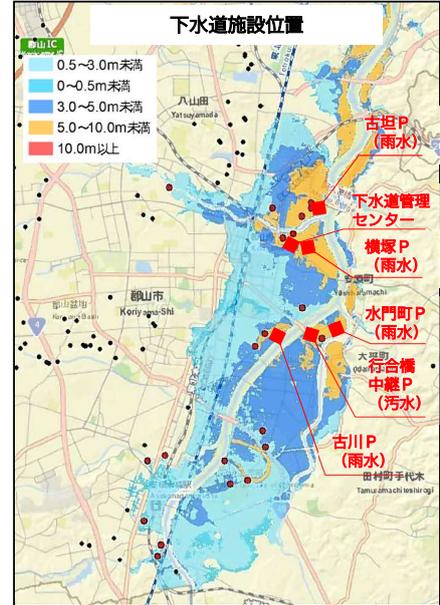
### 対象施設（N=6カ所+マンホールポンプ場）

- 下水道管理センター
- 雨水ポンプ場 N=4カ所（水門町、古川、古坦、横塚）
- 汚水中継ポンプ場 N=1カ所（行合橋）

### 業務内容

- ① 基礎調査（資料収集・施設の状況把握）
- ② 被害の想定（浸水範囲、浸入経路、停止機能等）の確認
- ③ 浸水被害対策の検討（ハード対策、ソフト対策、優先順位）
- ④ 耐水化計画書（案）の作成

※ 梅田Pは浸水想定区域外であるため対象外（但し、梅田Pは令和元年東日本台風による災害復旧で止水壁設置済み）



# 排水樋門遠隔監視操作化事業

第9回審議会  
説明

<現状>

排水樋門の操作は、職員が現地で行っている。

<課題>

洪水時等、避難指示が発令された場合や樋門周辺が浸水し職員が現地へ行けない場合は操作不可となる。

<対策>

排水樋門の遠隔操作化を進める。

(例) 逢瀬川第3号樋管



設置年度：昭和60年代

位置図（令和元年東日本台風による浸水区域図に追記）



●：対象樋門（N=13箇所）

年度	作業項目・要望額	内容
令和3年度	基本調査設計 (N=13箇所)	・既設ゲートの操作形態、稼働状況の整理 ・操作盤、ゲート本体の改築の可否の検討 ・ゲート重量変更に伴う概略設計計算 ・図面作成
令和4年度	実施設計	
令和5年度以降	工事	